

やまがた女性のつながりサポート事業【山形県】

総事業費	7,489 千円
交付金額	3,744 千円

地域の実情と課題

- ・ひとり親家庭の39.6%が、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減ったと回答している（山形県ひとり親家庭実態調査）。
- ・望まない孤独や孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、NPOの知見を活かしたきめ細かい支援に取り組む必要がある。

事業の特徴

孤独・孤立や不安を抱えた女性に対する支援として、オンラインによる相談及び県内各地のNPO等と連携し、交流スペースやピアサポート、生理用品の無償配布といった女性に対する支援体制を強化する。

事業の効果

支援提供団体の目標数4団体を達成し、県内各地域で事業を実施することができた。事業の参加者等を対象に実施したアンケートでは、「こういった場に初めて参加し、交流の場を待つことができて良かった」や「自分の居場所として心地よく感じている」などの声が多数あり、孤立の解消や不安の軽減につなげることができた。

目的・目標

様々な困難を抱える女性や望まない孤独を感じ不安を感じている女性に寄り添ったきめ細かい支援を行うとともに、生理の貧困に対する支援を行うことで、女性が安心して生活できる環境づくりを図る。

- ・支援団体
目標4団体 実績4団体

連携団体

- ・やまがた女性活躍応援連携協議会

今後の課題

不安や生きづらさを抱える女性に支援を届けるため、各地域でNPO等の支援団体の掘り起こしを行い、より多くの支援を必要とする女性に情報を届ける。

事業の概要

事業概要

望まない孤独・孤立や様々な不安・悩みを抱える女性に寄り添った、きめ細かい対応を進めていくため、女性同士のつながり支援の強化を図る。

開催実績

■孤独・孤立や不安を抱えた女性に対する支援体制の強化

- ・県内各地のNPO等と連携し、コース毎に女性に対する支援を提供 計4団体
- ・県内各地域(村山・最上・置賜・庄内):交流スペース、ピアサポート、生理用品の無償配布

事業目標

(目標) 支援提供団体数: 4団体 ⇒ (事業実績) 4団体

アンケート結果・参加者からの声

- ・アンケートでは、約25%が過去1年以内に生理用品が必要であるにも関わらず、生理用品を購入できなかったり、ためらったことがあると回答(R7年3月末時点)
- ・また、「こういった場に初めて参加し、交流の場を待つことができて良かった」、「自分の居場所として心地よく感じている」などの声があった。

[illegible]